

栃木県議会議員

平木ちさこ 活動レポート

元気ネット

発行
平木ちさこ
事務所
〒321-1274 栃木県日光市土沢1962
TEL 0288-26-6739
FAX 0288-26-6759
Eメール hiraki-chisako@nifty.com

ホームページ <http://hirakichisako.com> (毎月20日更新)

文科省によると、2002年から2013年までの12年間で発生した廃校は小中高5,801校。そのうち建物がまだ残っているのが約9割で、何らかの施設として活用されているものは約7割に留まる。

少子化や過疎化に伴う子どもの減少や市町村合併などによる廃校の発生数は2000年から増加し始め、年間約460校ほどになっている。

2010年には会計監査院から文科省に対し、廃校の活用に関する改善処置要求がなされた。検査対象1,333校のうち、3年以上未活用となっているものは42都道府県216校。その残存価値は249億2,405万円で、国庫補助金は104億7,450万円。

改善処置として、「公立小中学校の校舎などは多額の国庫補助金を投入して整備された施設であるとともに地域住民にとっては身近な公共施設であることから、廃校となった場合には住民の共通の財産として可能な限り有効活用されることが求められている。一方で現在の国や地方の財政状況に鑑みれば、多額の財源を投入して新たな施設を整備することには限界があることから、既存の施設を有効に活用することがより一層重要となっている。ついては文科省において、社会情勢の変化、地域の実情などに応じた廃校等施設の一層の有効活用を図るよう改善の処置を要求する」というものだった。

*

全国の廃校の利用状況としては、地域の集会場の他、食堂兼居酒屋、宿泊、食料品・日用雑貨販売などの商業系や、障がい者・高齢者施設等の福祉系、6次産業の生産系等、地域により様々な取り組みが行われている。

県議会の生活保健福祉常任委員会では、県内の2施設を視察した。

【木造の廃校舎をカフェに！】

昭和7年に建てられた大田原市の蜂巢小学校が今年4月に

カフェ「蜂巢小珈琲店」に変わった。

社会福祉法人エルムの里が、市から無償で借り受け、9,000万円の改修費を掛けて、オープンした。

障がい者の就労支援施設として15人がクッキー販売やコーヒーショップで働いている。30食の限定ランチはお客さんが並ぶこともあり、珈琲も焙煎機を備え本格的だ。

教室の一室には蜂巢小学校の思い出の部屋があり、古い写真が展示され、卒業生たちも懐かしく、訪れている。

*

もうひとつ、やはり廃校舎を利用して、株式会社DAIKANが48名の有料老人ホーム「明和ふれあいガーデン」を始めた。特別浴槽・機械浴の設備も完備している。

こちらは、9,000万円で建て物を那須烏山市から買い取り、改修費と備品に2億4,000万円を

掛けた。ホームのため居室用途への改修とあり、改修箇所も多く未だに経営は苦しいという。

気になる耐震への対応だが、各自治体と譲渡や貸与された施設が相談してそれぞれ行なっている。

*

県内では県立高校の統合による空き高校は9校で、5校はそれぞれの自治体に譲渡され、2校は民間売却を検討中。1校は体育館やグラウンドを市が開放している。1校はすでに更地になった足尾高校だ。

県内の小学校については昭和61年のピーク時453校から80校が廃校となった。また中学校については平成14年の176校から14校が廃校となった。

日光市では、旧市町村含め昭和57年以降11小中学校が廃校となった。川治小中学校は共用屋内運動場として地域へと開放している。

「あの学校・この学校」を知恵を絞って地域の人たちが楽しく利用出来るような場に変えるのも、地域の人たちと行政の力だろう。

あの校舎、もったいないね!



蜂巢小珈琲店

「たのべ」に、たのんべえ!

7月10日の参議院選挙に向け、野党4党と市民団体が「チームたのべ」としてそれぞれが力いっぱいたのべさんを応援している。

たのべ後援会の会長は、私が尊敬する宇都宮の女性牧師・小川暢子さん。彼女曰く「田野辺さんは少年時代から、田中正造翁の正義にあふれる生き方を尊敬していた」という。

以下、たのべさんのフェイスブックから抜粋。とても分かりやすいので、是非最後まで読んでください!

*

【栃木から考えるno.9: 国際情勢は悪化しているのか?】

たのべたかおです。

私は「防衛費やアメリカへの軍事協力費を子 裏面に続く

育てや介護などにまわす！」と訴えています。

そうすると、「中国や北朝鮮などの脅威が増し、国際情勢が悪化する中、日本の防衛はどうなるのだ！」というご意見をいただくことがあります。

そこで、今回は「国際情勢の悪化」について考えてみたいと思います。国際情勢は本当に悪化しているのでしょうか？

＊

かつて、1950年には北朝鮮と韓国との間で戦争が起き、約3年間続きました。その後も、アメリカとソビエト連邦は「冷たい戦争」の状態にあり、軍拡競争を繰り返してまいりました。お互い3万発とも言われるほどの多量の核兵器を持ち、にらみ合っていたのです。中国も1978年に改革開放政策が始まるまでは、いわば閉ざされた国でしたし、外国を攻撃したこともありました。1979年に起きた中国とベトナムとの戦争です。

この間、日本はずっと「専守防衛」を堅持し、「個別的自衛権」で対応してきたのです。「集団的自衛権」が必要なのか、そこまで国際情勢が悪化しているのか理解に苦しみます。

＊

現在の「国際情勢」を詳しく見てみましょう。北朝鮮では確かに独裁体制が続き、ミサイル発射を続けています。しかし、北朝鮮がもし攻めてきたら、「個別的自衛権」で対応できます。燃料が足りなくて停電してばかりいる、国民の食料も十分でない国が、近代的な物量戦争を長期で戦える力はありません。

また、北朝鮮の支配層にとって、自分たちの支配を続けることが最大の目的だと推察できます。自ら戦争を起こし、体制を危機にさらすでしょうか。そうは思えません。

もし北朝鮮がテロや日本攻撃を起こすとしたら、日本海側の原発を狙うのが一番効果的です。安倍政権は集団的自衛権よりも原発防衛を強化すべきです。

では中国の「脅威」はどれほど大きいのでしょうか。中国の軍事費の増加はしていますが、2015年の軍事予算を見てみ

ると、中国は145億ドル。これに対しアメリカは597億ドルで日本は41億ドル、合計すると中国の約4倍とはるかに大きな差があります。しかも中国はアメリカ本土の近くに軍事基地を持っていませんが、アメリカは中国の近くに日本という軍事基地を持っています。核弾頭の数もアメリカは7,300、中国は250といわれています。桁が違います。



平木後援会お花見にて

中国の側から見れば、日米同盟の方がはるかに脅威だと言えます。新しい安保法がなくても、中国は簡単には攻め込むことはできません。自分が負ける可能性の方が高いのです。

そもそも、中国に日本を攻撃するメリットがどこまであるのでしょうか。

中国国内には多くの日本企業が進出し、中国の輸出製品を作っています。日本からの部品も多く輸入しており、日本との良好な関係なくしては中国経済は機能しません。東日本大震災の時に日本の部品が入らずに中国は大きな打撃を受けました。中国が日本を攻撃すれば、自らの首も絞めることとなります。13億人の人間を食べさせていく経済が麻痺するからです。

＊

私は、「個別的自衛権」で日本を守ることは十分にできると考えています。武力をこれ以上増強するよりも、近隣諸国との経済関係や国際交流をより深化させていく方が、はるかに安全保障に役立つと思います。

心配なのは、偶発的な紛争が、両国国民も意地や熱狂的愛国心によって本格的な戦争に発展することです。

だからこそ、日本は平和主義のもと冷静になっておくことが、必要なのです。

お気軽にご参加ください

元気会 毎月第1土曜日 10時～11時30分

日時▶ 6月4日(土) 7月2日(土)

●会場：元気ネット事務所(日光市土沢1962)
※会費、申し込みは不要

女性の茶話会 毎月第1水曜日 19時～21時

日時▶ 6月1日(水) 7月6日(水)

●会場：元気ネット事務所(日光市土沢1962)
●参加費：300円
●申込み：☎0288-26-6739へ

※平木ちさこは、HPオフィシャルサイトまたはFBに、「今日の活動」を毎日アップしています。どうぞご覧ください。(平木ちさこで検索してください)

県政について、みなさんのご意見をお寄せください。



【Eメール】 hiraki-chisako@nifty.com

※平木ちさこの「元気ネット」ホームページは奇数月20日更新です。

※平木ちさこオフィシャルサイト <http://hirakichisako.com>

平木ちさこ 検索



皆さん、生のたのべさんの話をぜひ聴いて下さい。好きになること間違いなし！デスイデスヨ～！

たのべたかお 日光地区 総決起集会

日時 6月2日(木)
18:30～20:00

会場 ニコニコ本陣
(日光市今市719-1)

入場
無料



※この平木ちさこ活動レポート「元気ネット」は奇数月の最終日曜日に新聞折込み(日光市全域)をいたします。郵送でほしいという方についてはご一報下さい。